

CAPDのしくみ

腹膜に囲まれた腹腔内に透析液を注入し、一定時間貯留している間に腹膜を介して血中の不要な老廃物や塩分・水分を透析液に移行させた後、その液を体外に取り出して血液を浄化します。

透析液の出し入れをするために、カテーテルという柔らかいチューブを腹部に埋め込む手術が必要です。カテーテルのうち、体の外に出る部分はわずかですから、ほとんど活動の妨げにはなりません。

